

# 感涙の世界女王!!

## 宇高菜絵選手に「きらめき水都賞」を贈呈

～ 柔道世界選手権2014チェリャビンスク大会で優勝 ～



写真提供：共同通信社



9月18日 きらめき水都賞贈呈



9月17日 表敬訪問

今夏、ロシアのチェリャビンスクで開催された柔道世界選手権大会の女子57kg級で、西条市出身の宇高菜絵選手が初優勝を果たしました。

6月に痛めたひざは決して万全な状態ではない宇高選手でしたが、幼いころから柔道の手ほどきをしてくれた最愛のお父さんを今春病気で亡くされ、「天国の父に一番近い、表彰台の真ん中をめざす」と強い決意のもと臨んだ大会で執念を發揮して、見事に金メダルを獲得しました。優勝を決めると、誰よりも熱い声援を送っていた観客席のお母さん・弟さんに大きくガッツポーズを見せた宇高選手でしたが、その次の瞬間、感極まり大粒の涙が頬を伝う姿からは、まさにお父さんも含めた家族みんなの力が一つになって勝ち取った世界女王の座であることが伝わってきました。

また、宇高選手は同大会の日本女子代表選手団の主将も任じられており、柔道の技術だけではなく精神的にもチームを支え、女子は個人戦で金メダル0に終わった前回大会の雪辱を果たし、金2個・銀1個・銅2個という輝かしい成果を残しました。

市ではそうしたご功績をたたえ、宇高選手にこのほど「きらめき水都賞」を贈りました。

この賞は、学術・芸術・文化・スポーツなどの分野で卓越した活躍をし、本市の名声を高めるとともに、郷土の誇りとして市民に希望や感動を与えた個人・団体を表彰するもので、宇高選手は日本代表としてサッカー・ワールドカップに2度出場した長友佑都選手に続く受賞者となりました。

宇高菜絵選手、本当に優勝おめでとうございました。そして大きな感動をありがとうございました。この栄冠をステップに、2016年のリオデジャネイロ・オリンピックに向けて、さらに頑張ってください。